



スポーツ in はこだて

加盟団体代表者懇談会

体育協会でははじめて企画した
パネルディスカッション終了する

11月14日に開催した今年度の加盟団体代表者懇談会は30団体47名の参加によるパネルディスカッションを開催した。

パネラーを4団体から選出し久保会長がコーディネート役で進行した。各団体が掲げる課題や競技活性化と選手育成など熱心に語られた。さらに体育協会への要望など2時間に及ぶ議論や提案があった。各団体が抱える共通課題として運営費の不足、少子化による競技人口の減少、さらにスポーツ施設への要望など深刻な問題がクローズアップしている。

コーディネートした久保会長は「出来る限り行動に移す」と前向きな姿勢を示し懇談会は終了した。



行事予定のお知らせ

函館地区空手道連盟

設立40周年記念祝賀会

北海道で函館から空手が始まり普及したといわれ、最も古い歴史を持つ函館地区空手道連盟は設立40周年を迎え記念祝賀会を11月17日ホテル函館ロイヤルで開催した。祝賀会に先立ち北海道空手道連盟より、築井会長以下2名の役員に永年、選手の指導育成や協会の発展と貢献に対し功労賞が受賞された。



あいさつする築井会長

函館ソフトテニス連盟

講習会のお知らせ

- ・期 日 平成25年1月5日(土) 18:00
- ・会 場 函館市民会館 小ホール
- ・演 題 「夢への挑戦」
- ・講 師 N T T 西日本広島ソフトテニスクラブ
総監督 中本裕二氏

入場無料です。多数のご来場お待ちしております。

☆函館市民スポーツフェスティバル「第15回綱引き大会」

- ・日 時 平成24年12月8日(土) 午前9時15分
 - ・会 場 函館市民体育館
- 今年は45チームが、小学生低学年・高学年、中学生男・女、高校一般の5部門に分かれ勝ち抜き選で優勝が決定します。寒さを忘れた熱い戦いが予想されます是非ご観戦ください。
※駐車場に限りがあります電車・バスでご来場ください。

☆函館市体育協会「特別支援事業」 バレーボール教室

- ・主 催 函館バレーボール協会
- ・期 日 平成25年1月7日(月) 8日(火)
- ・会 場 函館市民体育館
- ・対 象 7日(月) 小・中学生 8日(火) 高校生・指導者
- ・講 師 全日本女子監督 眞鍋政義氏

☆函館市体育協会表彰式

- ・日 時 平成25年2月22日(金)
 - ・会 場 ホテル函館ロイヤル
- 表彰候補者の推薦を各加盟団体に依頼しています。提出期限は12月14日(金)までです。期日厳守をお願いします。

☆平成25年度の総会

- ・平成25年4月23日(火)です。
- 加盟団体には後日、改めてご案内します。

豆 知 識

自転車の種類を問わず、単独で走行している場合「ある速度域」に達するとその速度の維持が困難になってくる。原因は空気抵抗であり速度の二乗に比例する。世界的に有名なロードレース「ツール・ド・フランス」を例にとると、3000km強を3週間で走りきるこのレースは、ライバル選手との戦いでありながら、風との戦いでもある。ロードレースを見たことがある方ならご存知のとおり、選手は選手の直後を走り、少しでも空気抵抗を抑えて体力を温存させる。先頭を走っている選手もあ

(函館地区自転車連盟理事) 近藤良一

るタイミングで後ろの選手と交代して体力の回復に努める。空気抵抗を受ける先頭を複数人で分担し合うことを「ローテーション」という。このローテーションがあるからこそ1日約150kmから200kmの距離を時速40km/hから50km/hの高速を維持し走り終えることができる。速度を維持するためには「風」と「チームワーク」と「経験」が大切でイメージ作りの感覚が重要なことである。

函館市体育協会 加盟競技団体 紹介

函館地区空手道連盟

函館地区空手道連盟は、渡島・檜山地区から一般22・高校9団体が加盟、幼稚園から一般まで男女を問わず空手道の習得に励んでいます。加盟道場では厳しい稽古を通じ青少年の育成と礼節を重んじた謙虚な態度と、なにものにも臆さない精神を養うことを重点に指導しています。

空手道には「形」と「組手」の双方を学ぶことによって、心身の豊かな人間性の向上を目指すものです。「形」は、あらゆる攻防の場面を仮想して編成されたもので、繰り返しの練習で素朴さと忍耐を学ぶ、一方、「組手」は一定のルールの上に突き、蹴りの攻防で勝負を争うことで知恵と勇気を学ぶものです。

上達は簡単ではないが練磨するうちに楽しさが味わえるようになり、勝つ喜びと負けて工夫の意識が目覚め上達する楽しさが顕著に効果がみられる競技です。

※会員は各道場で随時募集、体験しませんか。



函館アイスホッケー協会

函館のアイスホッケーの始まりは昭和5年に五稜郭公園の結氷した堀で行われた様です。だれが始めたかは定かではありません。

昭和31年に湯の川の特設リンクで全国大学氷上選手権大会が開催されるにあたり、北大水産学部スケート部が創設され本格的に始まりました。

その後、湯の川のスケートリンクに屋根がかかり、インドアリンクとなると北大水産学部スケート部、棒二森屋、日魯造船、函館クラブの4チームで函館リーグ戦、渡島選手権大会でカップを争うようになり函館のアイスホッケーも体裁をなしてきました。

当協会は現市民スケート場がオープンした平成3年1月に函館スケート協会ホッケー部から独立し、函館アイスホッケー協会を設立しました。現在は北海道アイスホッケー連盟に加入し、登録は社会人6チーム、大学1チーム、少年団1チームで選手数は150名です。

市内の学校等にアイスホッケー部は有りませんが、他地域でのアイスホッケー経験者が加わることによりなんとか、競技を続けている状態です。年1回青函対抗アイスホッケー大会を開催しており、今年は青森市開催で24回目となります。

今後はさらに愛好者の増加・レベルの向上・ジュニアの育成に力を入れ、愛好者間の親睦を深める活動やアイスアリーナ実現の運動も続けて行きたいと思えます。



函館スキー連盟

アルペンスキーは北海道へ伝わり100年迎えました。

函館では1916年頃函館スキー倶楽部(後の連盟)が発足、その10年後に当連盟が正式に設立した。2016年に90周年を迎えます。当時の人達はスキーの普及発展のため国鉄とタイアップして臨時列車を運行し近郊のスキー場は大いに賑わったと言われていました。しかし近年はスキーの愛好者は著しく減少しています。

当連盟は、スノースポーツを愛する人々のため加入登録関係の総務部、競技スキー(会員200名)の普及発展と運営の競技部、基礎スキーとスノーボードの指導や検定そしてゲレンデでの安全管理、さらに指導(指導員500名)の研修を行う教育部と、3部体制で展開しています。

連盟は競技者の増加を期待し、昨シーズンは全日本コーチを招いたアルペンスキークリニックを函館市体育協会の

支援を受けて開催、多くの競技者から好評を得ました。今シーズンは連盟単独で競技者を対象にナイターアルペンスキークリニックを行う予定です。

教育部はスキーやスノーボード愛好者の要望に答えるべく渡島半島各地で活動し、昨シーズンまで1箇所で行っていた連盟独自の講習会や検定会を、スキーヤーのニーズを踏まえ、道内3箇所のスキー場で行うことにしました。

これらの事業計画は、連盟のホームページに掲載しています、ご覧頂き、参加していただくと嬉しく思います。

